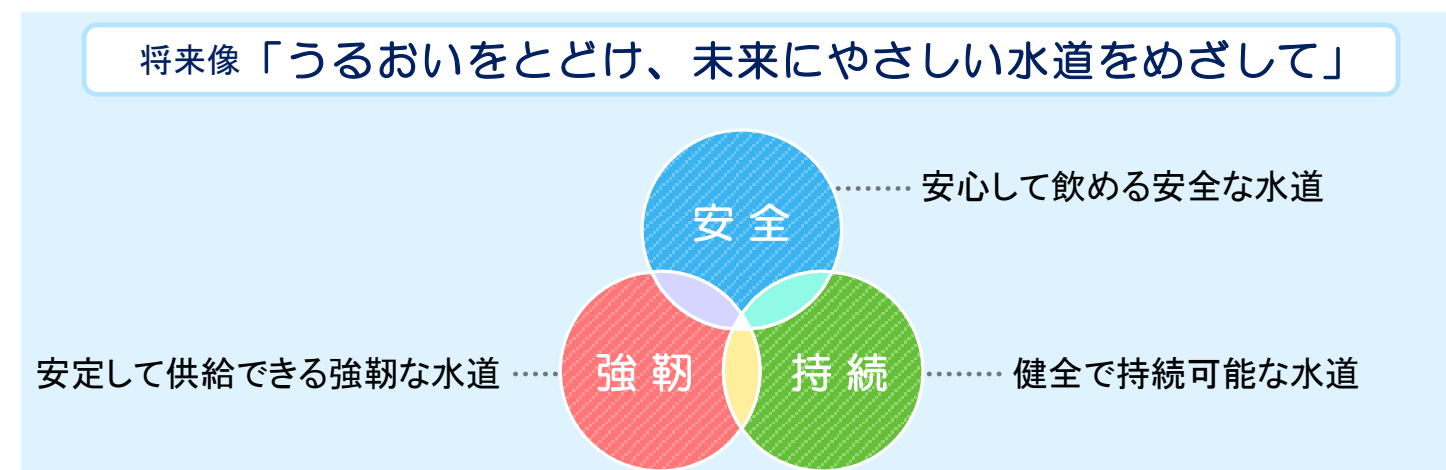


令和5年9月～令和14年度

■ 将来像、基本理念、施策体系

- 本ビジョンで掲げる将来像は、のぎ水道ビジョン(平成25年度～平成34年度)の将来像を継承することとします。
- 掲げた将来像の実現のため、厚生労働省の「新水道ビジョン」に示された、理想像の具現化のための3つの観点「安全」、「強靱」、「持続」を本ビジョンの基本理念とします。
- これらに基づいた各種施策体系を構築することで、将来像の達成に向けた取り組みを実施します。



安全 安心して飲める安全な水道

良好な水源の維持や健全な浄水処理機能の確保等、取水から給水に至るまでの総合的な水質管理を実施していきます。また、この水道水を安心して飲んでもらうため、水道水が適切なプロセスを踏んで管理され供給されていることを利用者へ示します。

基本方策

■ 水質管理体制の充実

■ 給水装置の安全性確保

強靱 安定して供給できる強靱な水道

平常時のみならず、災害等の非常時においても安定して給水を継続するために、耐震性能の低い施設や管路の耐震化、老朽化施設の更新を進めていきます。また、災害が多様化する中で、応急給水体制等のバックアップ体制を充実させ、想定外の事象にも対応できるよう努めます。

基本方策

■ 水道施設の耐震化

■ 災害対策の充実

持続 健全で持続可能な水道

ヒト・モノ・カネの3つの経営資源を健全なものにするとともに、近隣事業者や利用者とのネットワークも重要な経営資源として捉え、多様な連携手法を活用することで、運営体制を強化していきます。また、施設整備への投資が今後増加することが見込まれるため、料金改定の検討も併せて実施します。さらに、広域連携については、県の水道ビジョンや広域化推進プランにならない、隣接する事業者との広域連携または広域化を検討・推進していきます。

併せて、「水と緑」を大切にする野木町として、環境に配慮した水道事業の運営を目指します。

基本方策

■ 健全な水道事業の運営

■ 資産管理の適正化

■ 環境保全への貢献

■ 事業化計画

事業実施にあたっては、多様な連携手法の活用による事業の効率化や、補助金の積極的な活用等、事業コストの縮減に努めるとともに、最新技術の導入を検討するなど、効果的な事業運営を図っていきます。

1 水安全計画の策定

野木町の水道の全システムにおける危害要因の把握と危害評価、及びそれらの監視・制御方法を定めることで、安全な水道水の供給の確実性を高めます。

2 思川浄水場の耐震化または耐震補強

思川浄水場は施設の一部に必要な耐震性能を有していないため、耐震補強を実施し、耐震化を図ります。なお、供用から50年近く経過し、老朽化が進行していることから、更新による耐震化も視野に入れ計画を進めます。

3 管路の耐震化、老朽管路の更新

布設年度や管種、地盤状況等から被害のリスクが大きい管路を選定し、管路に優先順位付けをして更新を進めます。これに加え、給水区域内にある重要給水施設までの配水管を優先的に更新し、耐震化します。

4 耐震性貯水槽の設置、川西配水場への緊急遮断弁の設置

思川より西側の地域は、災害により落橋した場合は運搬給水が困難となることが想定されるため、応急給水拠点における耐震性貯水槽の設置及び川西配水場への緊急遮断弁の設置を行います。

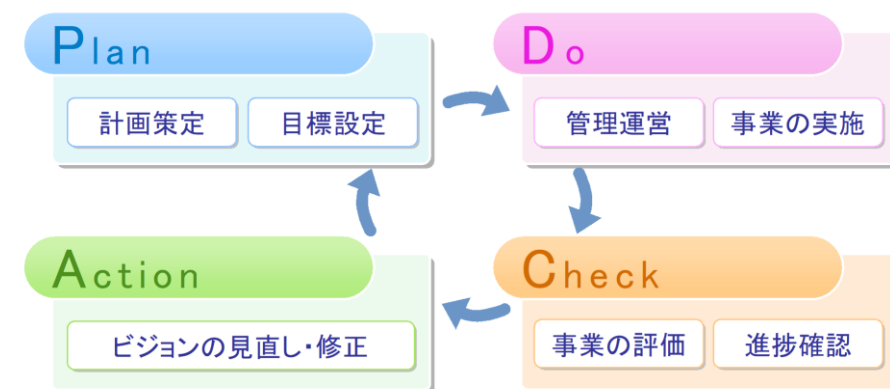
5 危機管理対策マニュアルの策定

水道施設が被災した場合に、応急給水や応急復旧等の活動を計画的かつ効率的に実施するため、危機管理対策マニュアルを策定します。

■ フォローアップ

本ビジョンでは、将来的な事業環境の見通しのもとに各種施策を策定しましたが、中長期の予測であり、計画が過大または過少となることも想定されます。

常に健全な水道事業を経営するために、下図に示すPDCAサイクルのもと、計画の評価と見直しを定期的に行い、事業環境の変化に柔軟に対応します。



野木町 産業建設部 上下水道課

〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林 571

TEL:0280(57)4146 Mail:jougesuidou@town.nogi.lg.jp